

実証実験等実施計画書

記載にあたっての注意事項

記入要領・記入例は削除して
提出してください。

- ✓ 各スライドの説明文、審査目線を理解の上、内容に漏れの無いよう記載してください。
（記載の無い箇所は評価ができなくなる点、ご承知おきください）
- ✓ 各スライドは必要があれば枚数を追加してください。
- ✓ 適宜、内容が伝わりやすいように図や写真等を使用してください。
- ✓ 申請時に提出いただく資料のみで審査を行いますので、本資料を見ただけで内容が理解できるように文字での説明も充実させてください。
- ✓ なお、スライドの見栄え（レイアウトや図・写真等の使用）は審査員が審査をする上で内容の理解のしやすさには影響しますが、審査の評点には直接影響しません。

1. 実証実験等計画名称

(例) XXの課題を抱えるXX層向けのサービスに必要な機能検証のための実証実験プロジェクト

2. 企業概要

企業名	XX株式会社	
代表者 職・氏名	(職名)	(氏名)
登記上の本店所在地 または 所属大学の研究室の所在地	〒 ー	
横浜市内の拠点所在地 (本店所在地と異なる場合)	〒 ー 横浜市	
連絡先	連絡担当者： (部署名) (担当者名) 電話： E-mailアドレス：	
設立年月日	法人設立： 年 月 日	

資本金	X,XXX万円	
主要株主	出資者（上位 5 位まで）	持株比率
	①	%
	②	%
	③	%
	④	%
	⑤	%
従業員数	従業員数 名（うち正社員 名）	

3. 応募する事業カテゴリ

事業領域	① モビリティ（ハードウェア / ソフトウェア / サービス / その他（ ））
	② クリーンテック （再生可能エネルギー / エネルギー効率 / EV・電化 / 蓄電池・関連材料 / 水素・燃料電池 / 半導体 / サステナブル素材 / その他（ ））
	③ その他（ ）

4. 顧客と課題認識

「解決しようとする課題」と「対象となる顧客」、「顧客へのチャネル」について詳細に記載してください。

解決しようとする課題

(記入例)

- XX業界では、これまでXXのサービスを提供してきたが、特にXXの人々がXXの観点から望むXXのサービスについては十分提供することができていない。それによってXX層の人々は快適にXXを行うことができていないため、XXを実現するXXを市場に提供できるようにすることが課題である。
- XXの人々のXXの課題を解決することにより、社会・環境の面では、XXの効果の創出も見込むことができる。

対象となる顧客

(記入例)

- XXの活動を行うXXの人々のなかでも、XXの観点から現状のXXのサービスに不満を感じている層をターゲットとする。
- 上記課題に対して、ターゲット顧客に与える提供価値は、「快適、かつ安価にXXを利用できること」である。XXの観点から現状のXXのサービスに不満を感じている人々のニーズに応えるためには、XXの機能を有するXXのサービスが求められる。そのため、XXの機能に軸足を置いたXXサービスが実現すれば、XXの層が抱える上記課題の解決を図ることができる。
- 現在、XX業界で提供されているXXのサービス市場は、日本国内では年間XX億円程度の規模である。XXの課題を抱える人々は国内でXX万人（XX市場の想定顧客のX%程度）存在すると考えており、今後もXX市場はXXを要因として、XX年後にはXX億円程度に拡大していくことを想定している。

顧客へのチャネル

(記入例)

- 現在、XX業界でXXのサービスを提供しているXX社と業務提携し、当社がXXの機能を有するXXサービスに必要なXXのデバイスを開発・生産し、XX社にリース販売する。XX社はXXサービスの販売代理店として、既存の自社ネットワーク（国内XX店舗）を通じて、当社がリース販売したXXをエンドユーザーに月額提供する（当社はエンドユーザーに直接サービスを提供せず、提携する販売代理店を通じてサービスを提供する）。
- エンドユーザーに対する有償のアフターサービスはXX社を窓口とするものの、XXに関する技術的なメンテナンスは当社スタッフが行う。

5. 解決策（ソリューション）

競合優位性

※類似技術・先行技術等の状況分析を踏まえ、プロダクトの革新性・優位性について記載してください。

※現時点で直接的に比較できる対象がない場合は、対象を広げ、将来、後追いで競合となりうる関連技術、周辺技術、代替技術について記載してください。

（記入例）

- XX業界では、当社以外にも、XXの観点からXXの価値を提供するサービスの事業化を進める競合企業（例：XX社、XX社）が存在する。
- XXサービスの実現のため、当社が開発中のXX機能を有するXXデバイスは、XXの点で技術的な優位性を有している。当社ではXXの知見・ノウハウを有するXX名の社員がXXの研究開発に従事しており、これまでXXとXXの開発成果について特許出願し、自社の技術的優位性を守る取組を行っている。
- XXに関する技術的優位性を通じて、当社サービスは、XXの価値をエンドユーザーに提供することができ、競合企業とXXの点で差別化を図ることができると考えている。

< 当社の技術的優位性、革新性 >

- 当社が開発中のXX機能を有するXXデバイスは、XXの点で技術的な優位性を有している。

< 当社の技術的優位性が顧客に提供する価値 >

- XXに関する技術的優位性を通じて、当社サービスは、XXの価値をエンドユーザーに提供することができる。



< 競合他社の状況 >

- 競合他社が、展示会出展時に公表している情報等を踏まえると、XXの観点からXXの点よりもXXの点に軸足を置いた開発を進めていると推察される。
- 特許出願の状況を見る限り、競合XX社はXX機能の開発を進めており、当社がターゲットとするXXの層向けのサービスとは競合しないと考えている。

※記載内容を補足する情報があれば掲載してください。

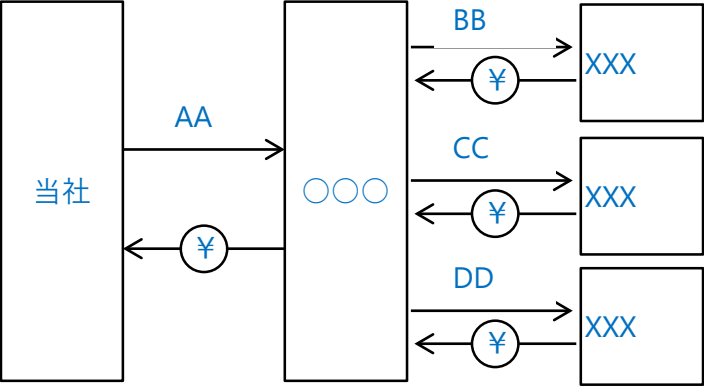
6. ビジネスモデル（収益の流れ）

「ビジネスモデル（誰に何を提供し、誰からどのように収益化するか）」を詳細に記載ください。

※ 上市までにかかる費用（コスト）と、調達方法を記載してください。
※ 収益の流れ（どのようなタイミングでいくら収益を獲得するか）、コスト構造（価値を提供するのにどのくらいのコストがかかるか）も踏まえて記載してください。

	概要
ビジネスモデル	（記入例）xx社と販売代理業務に関する業務提携を行い、xx社を通じて、xxサービスをエンドユーザーに月額提供する。月額の定額サービス料のx%を販売代理業務を行うxx社に支払う。 （記入例）標準プランはxx万円/月、それ以外にxxを拡張したxxプラン（xx万円/月）を設ける予定である。
上市までにかかる費用、資金の調達予定	（記入例）2025年xx月～xx月にxx機能に関する実証実験を行い、その結果を踏まえ、追加開発をxx年xx月～xx月に行い、最終テスト（xx年xx月～xx月）を経て、xx年xx月に販売開始を予定している。 （記入例）販売開始までのxxヵ月の会社運営にxxxx万円の資金が必要であり、そのうち、xxx万円を追加開発、xxx万円を最終テストに充当予定である。また、上市までの必要資金は、現在出資を得ているxx社と相談しており、xx年xx月頃にxxxx万円程度の資金調達を行う予定である。

< 事業のスキーム >



※図や既存の資料を添付いただいても構いません

< 1ユーザーあたりの収支想定 >

費用（円/月）		売上（円/月）
xxの人件費	xxx	標準プラン：xx,xxx
xxのメンテナンス費	xxx	
xxのシステム利用費	xxx	
販売代理業務の委託費	xxx	

7. チーム・メンバー

※チームのバックグラウンドがわかるように、記載してください。

ビジネスモデルを実現するための『チーム・メンバーの体制』について記載ください。



	役割	類似の経歴・保有スキル、実績
プロジェクトリーダー	XXに関する全体管理	過去にXX株式会社でXXの開発、事業化に携わり、当社でもXXやXXを担当した実績を有する
開発リーダー	XXの開発に関する企画・管理	XX株式会社でXXの開発に従事。XX大会ではXXの受賞経験を有する
開発メンバー 1	XX機能の開発・検証	
開発メンバー 2	XXとXX機能の開発・検証	
事業企画リーダー	XXに関する企画・管理	XX株式会社やXX株式会社でXXの事業化に携わった実績を有する
企画メンバー 1	XXに関する社外のネットワーク構築	
企画メンバー 2	XXに関する社外との調整	
社外：提携先	XXの販売代理店業務	国内にXXの店舗を有し、XX層向けにXXサービスを販売している
社外：委託先 1	XXの開発に関する業務	XXやXXの開発実績を有し、当社から過去にXX業務の委託をした実績を有する
社外：委託先 2	XXの開発に関する業務	

8. 実証実験等期間中の取組内容とマイルストーン

「本事業期間（2026年2月末まで）に実施したい内容」と「必要資金」「必要なリソース」「スケジュール」「マイルストーン」をプロセス毎に記載してください。

※実証実験を実施するにあたっての課題なども、あれば記載してください。

実証実験期間内での
到達目標

(記入例) 販売開始にあたりXX機能のブラッシュアップ、UI改善に向け、実証実験を通じて必要な改善点を把握したい

- ・ 検証項目 1 : XX防止・制御のためのXX機能の発動率、発動ケース
- ・ 検証項目 2 : 利用～終了までのUIに対する不便さのユーザー評価、不便さが指摘される内容

業務内容		2025年						2026年		
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各月の到達目標		実証計画の作成完了		実証先の決定	実証実験の準備完了	実証実験の開始		効果検証の完了		
プロセス	検証する内容・仮説の具体化									
	検証項目・方法の決定									
	実証先の探索									
	実証実験に向けた準備									
	実証実験の実施									
	効果検証・報告書の作成									
伴走支援で希望するサポート内容		効果検証や実証先の探索に関する助言	実証先の探索、マッチングの支援						今後の協業先（開発委託先）の紹介	
必要資金（用途）		万円（用途）	XXの開発費：XX万円（うちXX万円を助成申請予定）			実証期間中の安全対策費：XX万円（うちXX万円を助成申請予定）		効果検証のための人件費：XX万円（うちXX万円を助成申請予定）		

9. 実施体制

実証実験等に関する「内部・外部（委託先など）も含めた各プレイヤー」と「役割」、「得意とする技術等」を記載ください。
 なお、外部の場合は「なぜその事業者を選んだかの理由（選定理由）」も併せて記載してください。

プレイヤー	想定される役割	得意とする技術・能力、経験など	（外部の場合）選定理由
XXX株式会社 XX部 部長 XX XX https://www.～	• XX機能の開発の企画、進捗管理を担当予定	• 過去にXX株式会社でXXの開発、事業化に携わり、当社でもXXやXXを担当した実績を有する	—
XXX株式会社 XX部 XX XX https://www.～	• XX機能の開発のうち、AA部分の開発、検証を担当予定 • 横浜市との連絡担当窓口を担当予定	• XX株式会社でXXの開発に従事。XX大会ではXXの受賞経験を有する	—
XXX株式会社 XX部 XX XX https://www.～	• XX機能の開発のうち、BB部分の開発、検証を担当予定	• XX株式会社でXXの開発に従事。XXの資格を保有している	—
△△株式会社 XX部 XX XX https://www.～	• 当社の開発委託先として、XX機能の開発のうち、XX部分の作業を委託予定		• XXやXXの開発実績を有し、当社から過去にXX業務の委託をした実績を有するため、今回のプロジェクトでも委託予定
△△株式会社 XX部 XX XX https://www.～	• 当社の開発委託先として、XX機能の開発のうち、XX部分の作業を委託予定		• XXやXXの開発実績を有し、当社から過去にXX業務の委託をした実績を有するため、今回のプロジェクトでも委託予定

10. 目標とロードマップ

貴社ビジネスが何年後にどのくらい成長するか、また、今回申請する実証実験計画がどのように寄与するのかがわかるように、詳細に記載してください。

実証実験の概要	・ 横浜市内のXX関連施設内(屋内)で、XX層を対象に、XXサービスの無料体験イベントとして実証実験を実施
想定している実証先・要件	・ XX関連施設。XX名/日程度が利用し、なかでもXX層の利用が多い施設での実証実験を希望
実証実験の実施期間の希望	・ 2カ月程度の実施を希望
実証実験の実施規模の希望	・ 期間中にX件（X名の利用）のデータ取得ができる規模で実施したい
実証までに必要な開発（内容・理由・期間）	・ ①：XX機能の開発（理由：開発計画の8割程度は完了しているが、未完のため。期間：2カ月程度） ・ ②：現場施設の形状に対応した機器のカスタマイズ（理由：XXXのため。期間：半月程度）
実証実験に関する安全対策の想定	・ 保険への加入／実証先の施設管理スタッフに対する事前レクの実施／期間中の派遣スタッフの現場常駐
実証実験の効果検証の指標、方法、期待値	・ ①：XX防止・制御のためのXX機能の発動率(期待値：XX%)、発動ケース(想定：XXのケースに発動)。 検証方法：ログデータをもとに集計し分析予定。 ・ ②：利用～終了までのUIに対する不便さのユーザー評価(期待値：5段階中平均X点)、不便さが指摘される内容(想定：XXのステップ)。検証方法：謝金を払い、後日ユーザーに対するヒアリングを実施。
効果検証の結果の活用	・ 実証後、XX年XX月～XX年XX月までの追加開発の計画期間において、実施を予定しているXX機能のブラッシュアップ、UI改善の具体的な作業項目、作業工程を立てるために効果検証の結果を活用する。

	開発フェーズ (XX年X月～XX年XX月)	事業化初期フェーズ (XX年X月～XX年XX月)	発展フェーズ (XX年X月～XX年XX月)
事業規模	・ XX年XX月に販売開始予定	・ 売上XX万円/月 ・ 市場シェアXX%	・ 売上XX万円/月 ・ 市場シェアXX%
事業・取組内容	・ 実証実験を通じた仮説の検証、XX機能の改善点の洗い出し	・ XX年XX月に販売開始 ・ XXを通じた広報活動の実施	・ XX層向けの追加機能を開発 ・ 販売代理業務の提携先の拡充
事業成功のポイント	・ 開発機能が顧客ニーズに対応しているという仮説の適合性 ・ 追加的な開発項目の明確化	・ XX層を対象としたサービスの浸透、認知度の向上	・ 追加機能の早期実現と提供開始前の実証実験の実施 ・ XX層に対するチャンネルを有する企業との業務提携
協業・連携先の探索の必要性	・ XXの開発をスピーディーに実施できる新たな開発委託先の探索が必要		・ XX層に対するチャンネルを有する販売代理業務の提携先の探索が必要

11. 知的財産権の取得状況（周辺特許を含む）等

今回申請する実証実験等を行う研究・開発に係る知的財産権（特許権、実用新案権、意匠権、商標権等）の状況を『取得済』、『出願中』、『出願予定』等のステイタスに分けて記載してください。

また、他社のライセンスについても、『実施許諾』や『譲渡』を受ける予定があれば、記載してください。

- ※ステイタスごとに記載してください。（取得済、出願中、出願予定等）
- ※特許を取得している場合、発明の名称、特許番号（または出願番号）、発明者、出願人、出願日を記載してください。
- ※今後、本研究・開発に関連する知的財産権（特許権、実用新案権、意匠権、商標権等）の出願を予定している場合は、その内容も記載してください。
- ※本研究・開発に類似する先行技術の知的財産権についても記載してください。

＜既に取得・出願しているもの＞

状況	発明の名称	特許番号/出願番号	発明者	出願人	出願日
取得済	XXXXXXXXXX	特許第XXXXXXXX号	XXXX	xx株式会社	XXXX年xx月xx日
出願中	XXXXXXXXXX	特願XXXX-XXXXXX	XXXX	xx株式会社	XXXX年xx月xx日

＜今後、取得・出願を予定しているもの＞

対象	内容
特許権	XXXXXXXXXXに関する発明
商標権	XXXXXXXXXXに関するサービス名、ロゴ

＜他社からライセンス提供を受けるもの／受ける予定のもの＞

状況	内容
実施許諾	xx株式会社のxxに関する発明について、xxの条件で使用する許諾を得ている
譲渡	xx株式会社のxxに関する発明について、特許権を譲渡されている

12. 公的助成等の実績

今回申請した実証実験計画に関連する技術における、過去 5 年間の公的助成等の実績を現在申請中のものも含めて記載してください。

他の公的助成との併用はできません。

年度	申請先	助成等事業名	事業名	採択の有無
XXXX	XX省	XXXX支援事業	XXXXプロジェクト（xxの開発に対する支援を申請。今回横浜市に申請した内容とxxの点で異なる）	採択
XXXX	XX県	XXXX支援事業	XXXXプロジェクト（xxの開発に対する支援を申請。今回横浜市に申請した内容とxxの点で異なる）	審査待ち

< 参考：今回申請した実証実験計画に関連する技術以外に、貴社での公的助成の実績があれば記載してください。 >

年度	申請先	助成等事業名	実証実験計画名	採択の有無
XXXX	XX省	XXXX支援事業	xx実証実験プロジェクト（xxの実証実験に対する支援を申請。今回横浜市に申請した内容とxxの点で異なる）	採択

参考情報

前記いただいたスライド以外に特記したい事項を自由に記載ください。